

社会資本整備審議会

道路分科会 近畿地方小委員会（第3回） 議事概要

1. 日時

平成23年11月8日（火） 16:00～17:00

2. 開催場所

近畿地方整備局 新館3階 A会議室

3. 出席者

<委員>

山下淳委員長、浦尾たか子委員、川本義海委員、中瀬勲委員、宗田好史委員

4. 議題

○ 防災機能の評価に関する最近の話題

○ 平成24年度新規事業採択時評価

対象事業

中部縦貫自動車道 大野油坂道路（和泉・油坂区間）（福井県）

5. 議事概要

○ 事務局より説明した、新規事業化候補箇所の選定により、大野油坂道路（和泉・油坂区間）を選定することについては妥当である。

また、紀勢線については東南海・南海地震発生時における防災機能から事業化とすることが重要との意見をいただいた。

○ 事務局より説明した中部縦貫自動車道 大野油坂道路（和泉・油坂区間）については、議論の結果、計画段階評価及び新規事業採択時評価は妥当であり、新規事業化すべきとの意見をいただいた。

<委員からの主な意見>

- 紀勢線については、東南海・南海地震の対策として絶対必要な道路であり、B/Cでは考慮されない防災のためのリダンダンシー確保の点で言えば、日本で最も必要な道路だと言っても差し支えない。
- 福井県では降雪時の安全性に対する評価のウェイトが高いが、大野油坂道路（和泉・油坂区間）ではトンネル区間が長いため雪害面に対しても効果が大きく、災害や地域生活を考慮すると必要な道路である。
- 環境については、委員会において検討されており、トンネル構造等により環境にも配慮した道路であることを、きっちりと明記された方が良い。
- 奥越地域から見た必要性は十分理解できる。
さらに、北陸地域全体の代替路や、近畿地方全体のネットワークにおける整備効果として、観光、経済圏、防災機能、リダンダンシーなどの観点を整理されたら良いのではないかと。